

## 電気技術者としての夢

山梨県立甲府工業高等学校 電気科 3年  
丸山 侑晏

私は、現代には欠かせない電気について深く知りたいと思い甲府工業高校の電気科に入学しました。この2年間で電気についてたくさんの事を学び、その中で私は第二種電気工事士という資格に挑戦し合格することが出来ました。この資格取得は私自身、電気技術者としての大きな第一歩になったと思っています。そしてこれからも電気についてより深く学び、女性電気技術者として社会に貢献していきたいと考えています。

まず、近年の日本の社会において女性の社会進出は大きなテーマとなり様々な職業に浸透しつつあります。しかし電気工事業界へ就職する女性の割合は全体のわずか2%程となっており、専門分野の中でも特に低い割合となっています。要因としては、女性にとって働きやすい環境がまだ整われていないことや女性電気技術者という職業があまり知られていないことなどがあると思いました。ですが女性の社会進出に伴い電気工事業界も少しずつ変化してきています。それは、女性のみを募集している求人があるという事です。女性しか入れない場所での電気設備等の点検であったり、一人暮らしの女性の自宅の点検を女性の電気技術者の方をお願いしたいと思われる人々が増加してきていることなどが挙げられます。こうした場所ではまさに女性の電気技術者が強く求められてくると思います。なので私がそのような職に就く事によって、より多くの女性の方に電気技術者というものを広めていきたいと思っています。

次に、電気の未来についてです。現在、地球温暖化などの環境問題が深刻化してきています。そこで電気工事業界では、二酸化炭素の排出抑制の対策や太陽光、風力などの再生可能エネルギーの開発、普及を積極的に推進してきています。しかしながら、一般の人々への理解はまだ浅いように思えます。電気と環境の関わりは、私達も積極的に理解を深め協力していく必要があると思っています。例えば、各家庭での太陽光発電の導入や電気料金プランを環境にやさしい電気に変える事など様々です。私はこのような環境への取り組みをたくさんの人に知って頂きたいと思っています。そのために地域と連携した環境対策についての公共事業を行ったり、SNSを活用した宣伝などが有効だと考えています。

現代では、電気は空気と同じような存在となり、当たり前で普段の生活で利用されています。そしてこれから先も電気が無くなることは無いと思っています。さらに発展し、進化していく電気の開発に少しでも携わることが出来るよう様々な電気の在り方について学んでいこうと思いました。